

「事業を構想する」とは？

2014.3.27 @ 文化産業交流会館

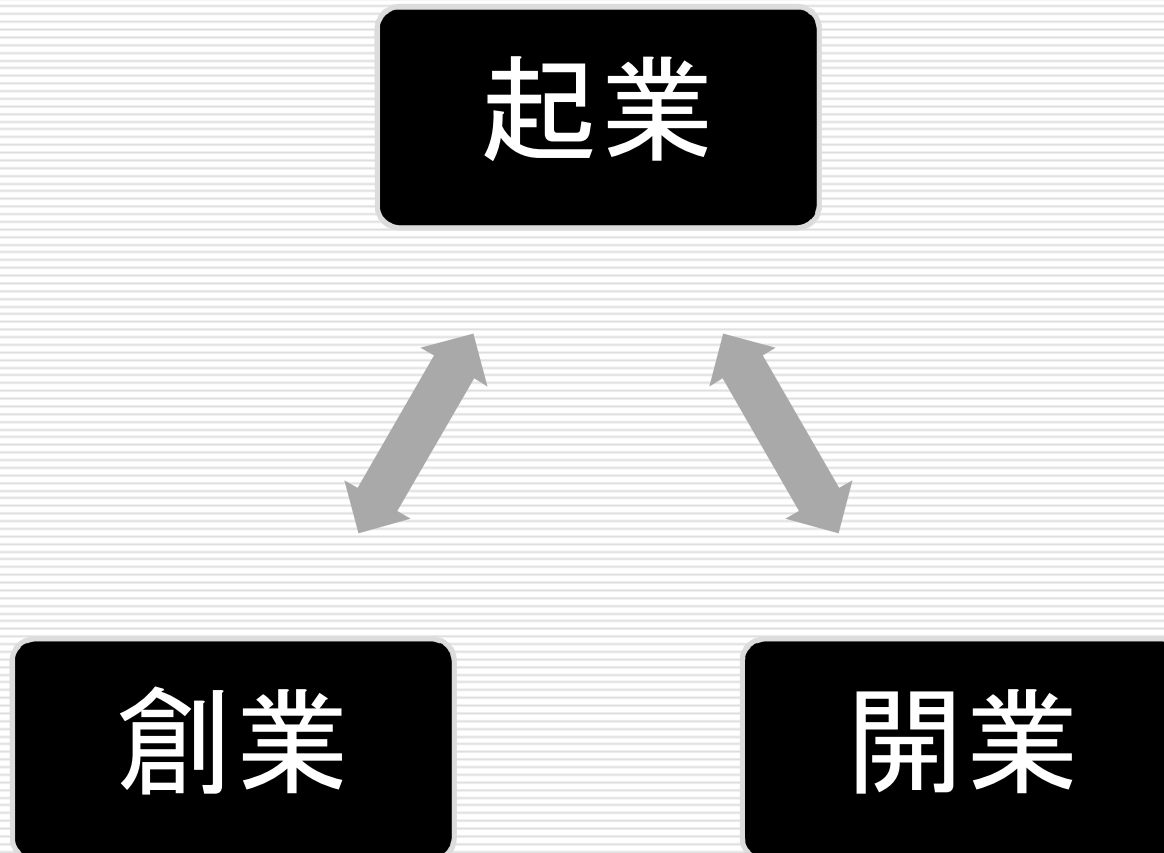
愛知学院大学 地域連携センター 所長
経営学部 教授
鵜飼 宏成

本日のゴール

- 「何を実現したいか」を見つける
事業計画の前段階
の紹介

頭の体操から・・・

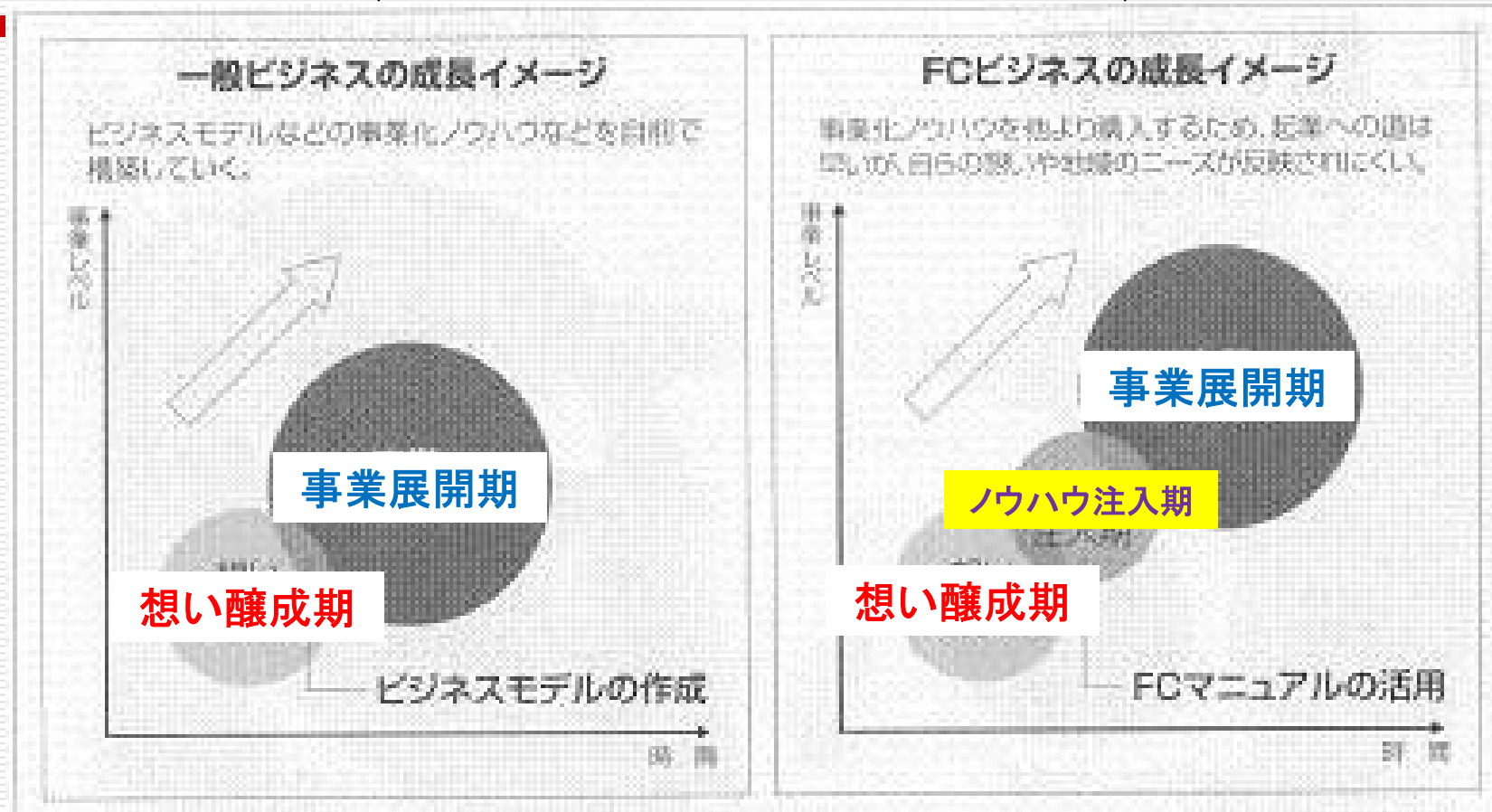
- 起業
- 開業
- 創業



「やりたいこと」が強い
本当に「求められている」のか？

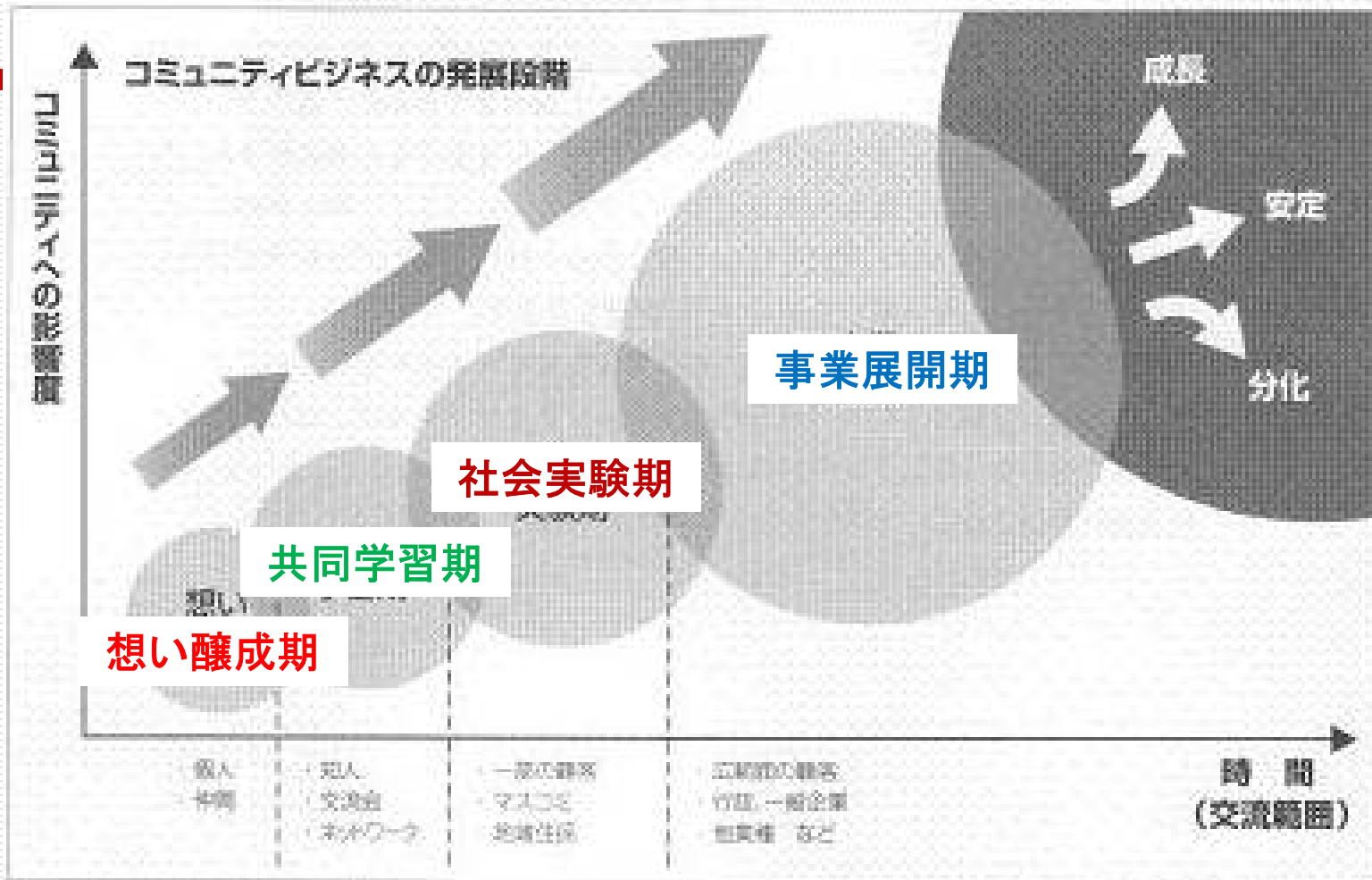


「できること」がない
ノウハウをお金でかうことも可能か？



(資料)特定非営利活動法人起業支援ネット編「コミュニティビジネスガイドブック」より引用し、加筆

「できること」と「やりたいこと」と「求められていること」とを
一致させていく過程を重視。ゆっくり、一つ一つ確かめながら。



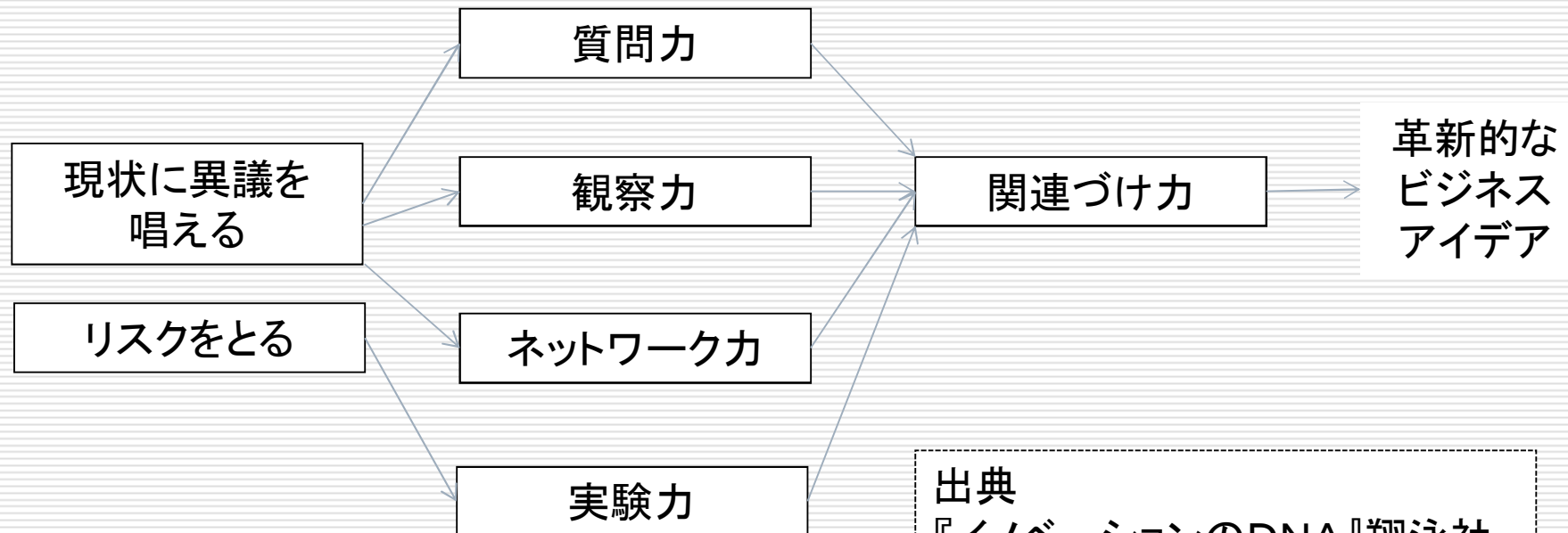
(資料)特定非営利活動法人起業支援ネット編「コミュニティビジネスガイドブック」より引用し、加筆

イノベータDNA「発見モデル」 と未来デザイン考程

イノベーションに取り
組む勇気・意志

行動的スキル

斬新なインプットを
組み合わせる
認知的スキル



出典
『イノベーションのDNA』翔泳社
クレイトン・クリステンセン他・著 2012年

未来デザイン考程の特長

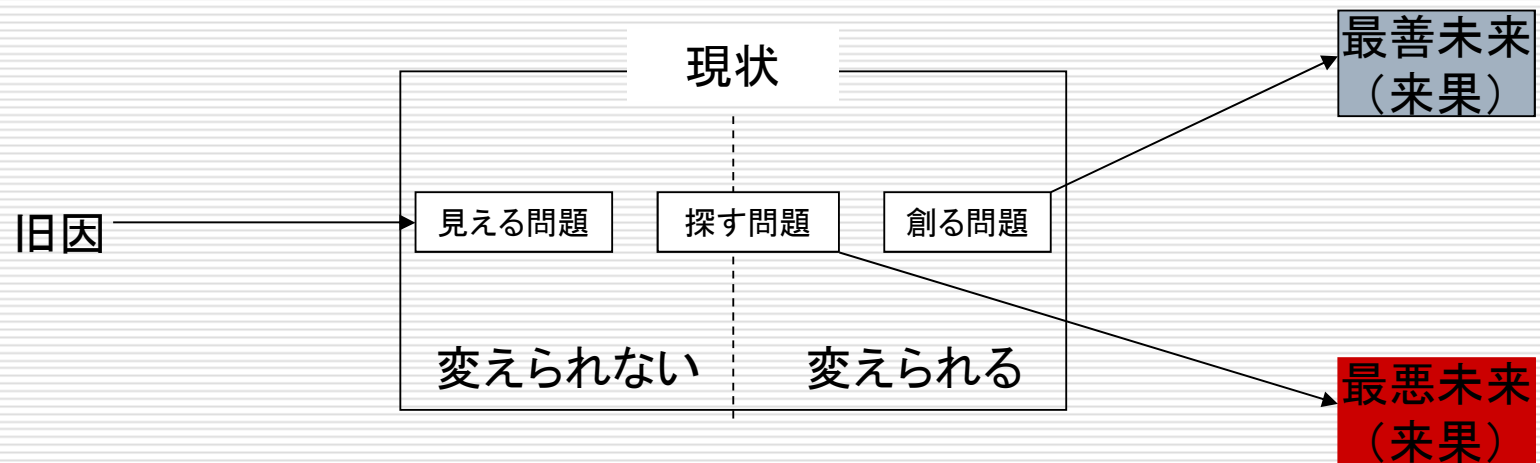
定性的な情報しか入手できない状態でも、
本質的なものは何かを探る方法論。

これは、2つで構成されている・・・

- 考程（考えるプロセス：程理学）
- 情報生産技術（発想法）

より重要なポイント 「問題」の捉え方

過去 (原因) 現在 (結果/原因) 未来 (結果)



出典) 日本IST協会編『IST問題解決研修基本テキスト』P5を修正し、作成

創る問題とは何かー私のアトピー体験

□ 見える問題

「過去のメガネで今を見た結果は・・・」

(間違った対応となる)

□ 探す問題

「とにかく今知っている範囲で探した結果は・・・」

(知らないことは問題とは、認識されない)

□ 創る問題

「まずありたいと宿願する姿をはっきりさせ、
今まで知らなかった、関係ないと思っていたこ
とまで検討した結果は・・・」

(根本原因を探りあて、解決するための要所を
解明し、克服すべき点を問題として設定しやす
い)